



撮影場所：小川公園

やいづ親善大使 鈴木裕子さん（二胡奏者） 焼津の景色を美しい音色に乗せて紹介月

議員が直接話を聞いて市民の本音に迫る「市民インタビュー」。

前号に引き続き、焼津市の魅力をPRしていただいている「やいづ親善大使」の皆さんをシリーズで紹介する第二弾として、二胡奏者の鈴木裕子さんにお話を伺いました。

1. 二胡という楽器に興味を持ったきっかけについて教えて！

最初に二胡の音色に出会ったきっかけは、小学5年生頃に行われた芸術鑑賞会の時です。その後、中学一年生の時に買ったCDのサウンドトラックから二胡の音色を聴いた時に、頭の中に山水画のような景色が浮かび、全身に鳥肌が立つくらい感動しました。小さな頃から習っていたピアノの鍵盤上

では出せない自由な表現ができる音色を自分でも奏でてみたいと思います、中学二年生の時から習い始めました。



〈やいづ親善大使〉
鈴木裕子さん

2. 二胡奏者として目標にしている人は？

目標としている人は2人いて、まず一人目は二胡奏者のチェンミンさんです。先日チェンミンさんのライブDVDを見たのですが、こういう二胡奏者になりたい！と憧れていた気持ちを思い出しまし

た。今では自分も舞台上に立って演奏する立場になったので、お客さんにもあの時自分が抱いた気持ちになつてもらえるように夢を叶えている真つ最中です。

二人目は自分の北京の師匠、劉長福先生です。師匠は70代になつた今も現役の二胡奏者であり、そして教育家でもあります。師匠は、国籍も年齢も性別も違いますが、それぞれの生徒の個性に合った的確な指導を下さり、本当に素晴らしかったです。北京にいた5年半は一生分の二胡の技術を私の体に叩き込んでくださり、かけがえのない時間を過ごしました。

いずれは自分も師匠のように、演奏面では二胡の音色をもっと楽しませる事、指導面では奏でる楽しみをもっと感じさせる事のできる人になりたいと思っています。



〈インタビュー〉
河合一也 議員

3. 親善大使の活動について教えてください！

市からやいづ親善大使の名刺をいただいた事で、演奏先での自己紹介では、その名刺をお渡ししながら焼津のお話をさせていただいています。そこから私の知らない、相手の方が知っている焼津の情報をお話いただけるとても良い機会をいただけたと思っています。

他には親善大使として焼津市のPR動画への参加だけでなく、BGMに焼津の自然を見て作った楽曲を使用していたり、焼津で開かれる全国規模のイベントでの演奏をさせていただいたりもしています。

4. 楽曲作りをする上で焼津のまちから影響を受けることはあるの？

私はこれまでに、焼津の桜を眺めながら「春の息吹」という曲を作曲しました。今年発売した3rdアルバム「わたしから、あなたへ」に収録されているオリジナルの新曲「雨」も、雨の日に傘を差して、市内の紫陽花が咲いている所を歩きながらインスピレーションをいただきました。適度な自然と共存しているまちが魅力だと思います。私のこれらの曲は、もしも車の通る音しか聴こえないような所であったら生まれれていなかったと思います。

5. 行政にどのような印象を持っているの？

今年が始まって間もなく、新型コロナウイルスが猛威を奮い、私の仕事には大変大きな影響が出ています。生演奏のお仕事に加えて4〜5月はレッスンも行う事ができず、どうなる事かと思いましたが、ちょうど昨年から、遠くの方でも私の情報が見やすくなるホームページを作りたと思います、「小規模事業者持続化補助金制度」を使ったホームページ作成を考えていました。新型コロナの事もあり、ますますインターネットを使用しての活動展開が重要になると思ったので、他の件で市役所に行く用事ができたことを機会に補助金の申請手続きをしました。

なるべく早く補助金をいただきたかったため、第一回申請受付締め切りに急いでいたところ、市役所の方に迅速な対応をしていただいたお陰で、書類も申請も間に合い、無事採択されて補助金をいただける事になりました。



〈インタビュー〉
川島 要 議員

6. 焼津を元気にするためにやってみたくらいの事。

何よりも新型コロナウイルスに負けずに、ここまで培ってきた技術を活かして演奏の経験を積み、演奏を聴いていただく事で皆様を元気にした！というのが今一番したい事です。

親善大使としては、動画投稿サイトに演奏動画を載せているので、その中で焼津の魅力を紹介するなど、今後もこれまでのように焼津市と関わり合いながら、二胡奏者としてお役に立つ事ができたらと思います。

